

組合員の皆様へ

令和3年11月

大阪府浴場国民健康保険組合

特定健診・がん検診（郵送検診）のご案内

貴方の命と健康はあなたの手で守れます

健康診断（春・秋）・人間ドック・特定健診・郵送検診等は、機関紙「ほのぼの」・ホームページ・案内文の送付などでご案内をさせていただいている。

春・秋の健診受付は終了しておりますが、郵送検診（がん検診）・特定健診（40歳以上）については無料で受診できます。

都合がつかなかった方等、この機会に早期発見・早期治療のためにも特定健診・郵送検診を利用し、ご自身の健康チェックをお勧めします。

『郵送検診』…郵送検診の詳細・申込みは同封の案内をご参照ください。

検査項目…肺がん・大腸がん・前立腺がん・ピロリ菌・歯周病リスク・子宮頸がん

- ☆ 35歳以上の方で、年1回のみ（3項目）（子宮頸がんは20歳以上）
- ☆ 健康診断・人間ドック等を受診された方は重複して受診できない項目（大腸・前立腺・ピロリ・子宮頸がん）がありますのでご確認の上申し込んでください。

『特定健診』…40歳～74歳の方で、現時点で健康診断・特定健診を受診されていない方に、お近くの診療所で無料にて特定健診が受診できる「特定健康診査受診券」を送付させていただいている。

〒556-0012

大阪市浪速区敷津東2-2-8号 大阪木津卸売市場内南棟2F

大阪府浴場国民健康保険組合 (TEL) 06-6634-2510

被保険者の皆様へ

ご希望の検診
年1回
3項目まで
無料

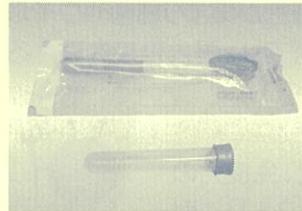
令和3年度
大阪府浴場国民健康保険組合

自宅でご都合のいい時に受診できます!

郵送検診のご案内

本保組合では、皆様方の健康管理のお手伝いとして、今年度もご自宅で簡単にできる郵送検診を実施します。この機会を利用して、1人でも多くの方が受診されますようご案内いたします。

【記】
子宮頸がん
(細胞診)
20歳から



妊娠中の方は申込みできません。

ピロリ菌
(便中抗原検査)
1回限り
35歳以上



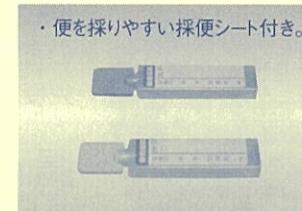
★昨年度「陰性」であった方は申込みできません。
★本保組合在籍期間中1回限りの受診です。

肺がん
(喀痰細胞診)
35歳以上



・3日分の痰を採取します。

今注目の
大腸がん
(便潜血検査)
35歳以上



・便を取りやすい採便シート付き。

トランクスフェリン
同時測定

前立腺がん
(血液検査)
35歳以上



・前立腺特異抗原 (PSA) を測定します。

歯周病リスク
(唾液検査)
35歳以上



・唾液中のヘモグロビンを測定します。

※前立腺がんについて 前立腺や泌尿器関連の疾患で治療中の方、特定薬物（抗男性ホルモン剤など）使用中の方、長年寝たきりになっている方は、正確な検査結果が出ないことがあります。

① 検診対象者 本保組合の35歳以上の被保険者の方。（1人3項目まで）但し、子宮頸がんは20歳以上の方。
(注)生活習慣病（共同健診・予防健診）・人間ドックを受診される方で、検査項目に（大腸・ピロリ・前立腺・子宮頸がん）などが含まれている場合、重複して検査ができないので、含まれていない検査項目を選んでお申込みください。

② 検診費用 本保組合が全額負担します。
*申し込みをされて検体の返送をされない場合はキャンセル料が発生する場合があります。

③ 申込方法 添付の申込用ハガキに必要事項をご記入の上、保護シールを貼り投函してください。（切手不要）
*希望する検査項目年1回3つまで受診できます。

④ 申込締切日 令和4年1月31日(月)消印まで有効。(早めにお申込みください。)

⑤ 器具の送付 申し込み後、問診票と採取器具及び返送用封筒が検査機関より個人宛に郵送されます。
器具到着後1ヶ月以内に、問診票と採取した容器を同封の封筒に入れて返送してください。（切手不要）返送が遅れると判定ができないことがあります。但し、ピロリ菌検査は7～9月の間は検体の採取返送はできません。

⑥ 検体返送締切日 令和4年2月28日(月)消印まで有効。

⑦ 検診結果 検体返送後、約2週間で本人宛に通知されます。

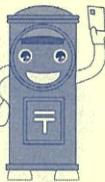
⑧ 検査機関 メスブ細胞検査研究所(京都府登録衛生検査所第38号)TEL(075)231-2230

*<個人情報の取り扱い>

受診する方の個人情報は、本検査を提供する目的に限り利用します。また、受診する方の個人情報を事前の承諾等を得ず、第三者に提供・開示することはありません。

*本保組合は、検査機関より受診者の検査結果を一括して報告を受け、保健指導および統括に利用します。

*器具の送付を受けた方は、必ず検査を受けてください。何らかの事情で受診されない場合は、検査機関へ連絡してください。未受診のまま連絡がない場合には、器具代を負担していただく場合があります。



がんは予防できる時代です。
毎年必ず受けましょう!



まずは郵送検診で早期発見を!

大腸がん検診 早期発見・早期治療により、ほぼ100%完治できます。



大腸がんは増え続けています

- ・この30年で罹患数（かかる人）は6倍！
- ・将来予測でがんの罹患数第1位！
- ・がん死亡原因：女性第1位！男性第3位！

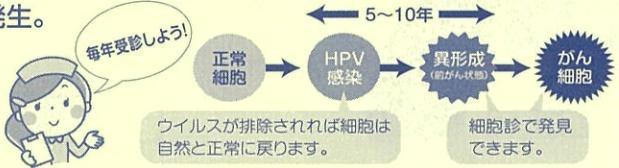
- 1つでも該当する人は要注意！
- 便秘がちである
 - お酒や肉類・加工食品をよく食べる
 - 緑黄色野菜をあまり食べない
 - 家族や近親者に大腸がんに罹った人がいる
 - 大腸にポリープができることがある
 - 潰瘍性大腸炎を患っている

子宮頸がん検診 検診を定期的に受けなければ予防できます。

20～30歳代で急増

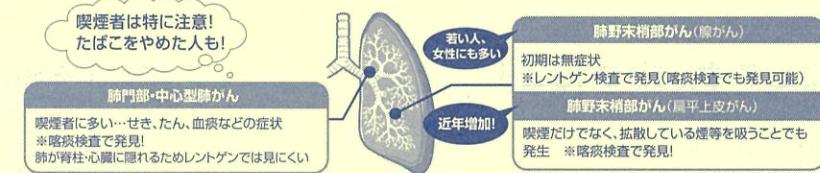
- ◆ 子宮頸がんはヒトパピローマウイルスの感染により発生。
- ◆ 女性の8割が一度はかかるありふれたウイルスです。

定期的な子宮頸がん検診を受けていれば、がんにかかる前の段階で発見し治療することが可能です。



肺がん検診 がんの死亡原因では第1位！“PM2.5が気になる方も”

- ◆ 胸部レントゲン検査で見つかりにくいタイプのがんに有効です。
- ◆ 喫煙細胞診は中心型早期肺がんの唯一のスクリーニング法です。



ピロリ菌検査 ピロリ菌除菌でがん予防！

胃がんの主な原因是
ピロリ菌です

- ◆ 「ピロリ菌」感染が胃がんを引き起こします。

ピロリ菌感染により胃の粘膜が傷つけられ、やがて慢性萎縮性胃炎を経て、胃がんを引き起こすことが解明されてきています。
この機会にピロリ菌感染の有無をご確認ください。結果が陽性の方は、除菌治療をして、胃がんを予防しましょう。

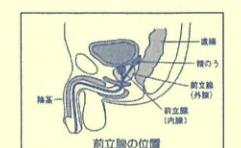
[胃がん発生の仮説]



こんな方は受診を！

- ・胃の調子が悪い
- ・家族に胃・十二指腸潰瘍にかかった人がいる

前立腺がん検診 急増しています！ 50歳から年に一度は受診！



血液中のPSAという物質の量を調べることで前立腺の異常を見つける検査です。がんの場合には、その81%を発見できる非常に有効な検査方法です。50歳を過ぎれば定期的な前立腺検査をお勧めします。

- ◆ 前立腺がんはサイレントキラー!!自覚症状がありません。

がんの初期には排尿障害等の症状はほとんど出ません。

排尿障害とは…

- ・尿の勢いが弱い
- ・尿の回数が増えた
- ・残尿感があるなど

歯周病リスク検診 簡単な検査で歯周病のリスクを知り、健康な生活を！



- ◆ 歯周病は静かに進行します。自覚症状のない時から、定期的に検査を受けることが大切です。

- ◆ 歯周病は歯を失う原因であるだけでなく、様々な病気のリスクを高める全身病です。

結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう。

毎年必ず受けましょう！がん検診！

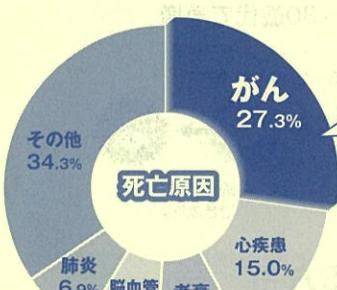
がんは予防できる時代です。

誰でもがんになる可能性があります！

一生の間に2人に1人ががんになる時代ですが、

早期発見で適切な治療をすれば、健康な日々を過ごすことができます。

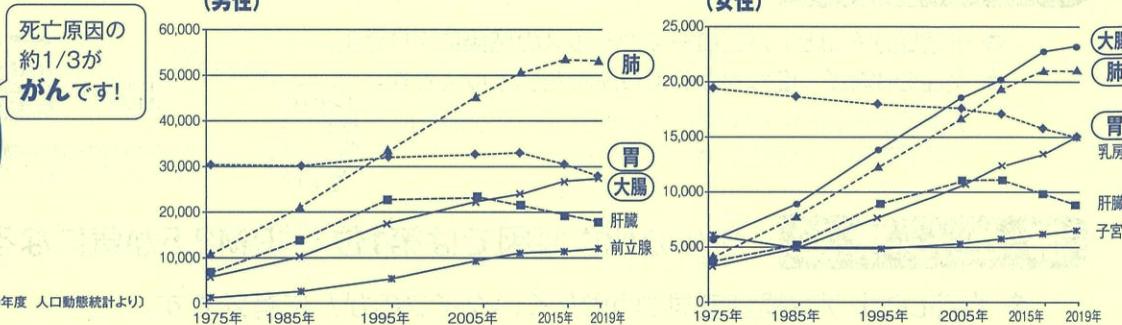
【主な疾病の死亡原因に占める割合】



【主ながん部位別死者推移】

出展：国立がん研究センターがん情報サービス
「がん登録統計」

(男性)



(女性)

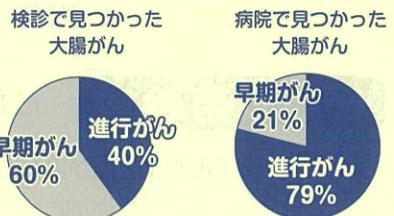
大腸
肺
胃
乳房
肝臓
子宮

自覚症状がなくても、まず検診！

早期のがんに自覚症状はありません！

がんを早期に見つけ、治療するためには、自覚症状がない時にこそ定期的に検診を受けることが大切です。

自覚症状を感じて病院で発見されたがんは
79%が進行がんです。

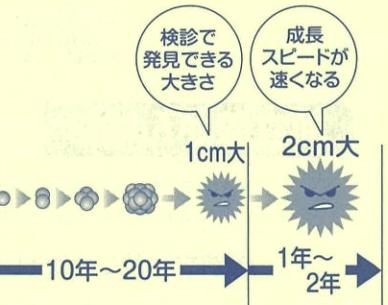


資料:厚生労働省「大腸がん集団検診の組織化に関する研究」

毎年検診を受けることが重要です！

がんの大きさが1~2cmくらいまでを「早期がん」といい、この段階で治療を受ければ完治も可能です。

検診で発見できるこの1~2cmの大きさになるには、10~20年かかりますが、1cmのがんが2cmの大きさになるのにはたった1~2年しかかかりません。だから、毎年がん検診を受けることが必要なのです。



結果が陽性の時は、速やかに精密検査を受けましょう！

検診は「自覚症状のない人」から「がんかもしれない人」を見つけるスクリーニング検査です。がん以外の何らかの疾患が隠れていることもあります。自覚症状がないから大丈夫！と思わず、すぐに精密検査を受けましょう。

毎年必ず大腸がん検診を受けましょう！

大腸がんは

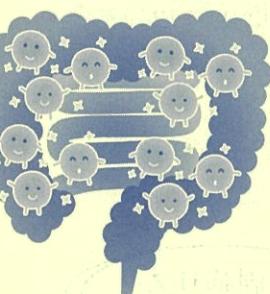
かかる人
年間153,193人
第1位

亡くなる人
年間51,420人
第2位

人口動態統計
罹患:2017年 死亡:2019年

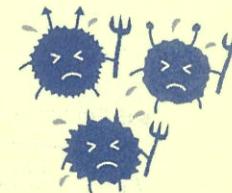
毎年検診を受診する人は、大腸がんによる死亡率が約70%低下すると厚生労働省が発表しています。

腸内環境を整えて免疫力UP！



腸は栄養素を吸収する役割の他に、自律神経や免疫細胞が集まり細菌やウイルスなどの有害なものを排除する機能を担っている重要な器官です。腸内環境を整えることで免疫機能を高めることができますと言われています。

腸内環境をよくすることは、消化・吸収・排泄の正常化、免疫力の向上、腸内細菌の毒素産生を低下させ、メタボの改善、ストレス耐性を高めます。さらに、がん・アレルギー・過敏性腸症候群・便秘のリスクを低下させることにもつながります。



早期の大腸がんが見つかりました。
この検査がなかったら、もっと進行して自覚症状が出るまで気づかなかつたと思います。
毎年受診してきたことが早期発見につながりました。
(40代女性)



ポリープが見つかり、内視鏡で切除しました。
ひどくならぬうちに切除できたので負担も少なく済みました。
若いから大丈夫ということはない、とわかりました。
(30代男性)



痔があるので、念のため軽い気持ちで受診したところ、2cm弱のポリープが発見されびっくりしました。
内視鏡で切除できるぎりぎりの大きさでした。発見が遅れたらがん化していたといわれました。
(50代男性)



精密検査に抵抗がありました。
紹介状のおかげで思い切って受診できました。
今まで気になっていたので良いきっかけになりました。
結果も問題なく、すっきり安心しました。
もっと早く受けたらよかったです。
(40代女性)



【注意事項】

郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。

郵送検診はスクリーニング検診（一次検診）であり、検診結果は病名を診断するものではありません。「要精密・陽性」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。

郵送検診の検査結果のみで病名を診断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。

●郵送検診のシステム



令和2年度
京都府医師会
臨床検査精度管理調査
協力施設

メスパ 細胞検査研究所
京都府登録衛生検査所第38号

〒604-0827 京都市中京区高倉通二条下る
瓦町550 メスピビル内

TEL.075(231)2230

FAX.075(211)7400

<http://www.msp-kyoto.co.jp>

E-mail:mail@msp-kyoto.co.jp